

建築設備科（定員：25名 訓練期間：1年）

応募対象者	建築物に不可欠な建築設備（給排水衛生・空調・電気設備等）に関する「施工・設計・施工管理」に必要な技術を習得し、関連企業への就職を目指す18歳以上の新規学卒者又は求職者の方。	
訓練目標	中小規模建築物の給排水衛生設備・給湯設備・空調設備を中心とする建築設備工事に関する施工・施工管理ができる人材の育成	
訓練内容	住まいのライフライン「水道」「電気」「ガス」等の設備について、「施工」「施工管理」「メンテナンス」の知識と技術を学びます。BIM対応するCADソフトで業界シェアが高い設備用CAD技術も学び、業界で必要とされる人材育成をめざします。	
訓練風景		
訓練教科	主な教科	教科内容
	建築設備及び機器概論	給水設備、排水通気設備、衛生器具、給湯設備、上下水道施設、ガス設備、換気設備
	燃焼化学概論	燃料の種類、エネルギー計算、燃焼理論
	住宅設備及び機器	給水設備、給湯設備、排水通気設備、衛生器具設備、ガス機器設備
	施工法	機械・工具と使用法、各機器の設置法、管工作法、配線と結線
	機器材料	空気調和設備機器、給排水衛生設備、消火設備材料、ガス設備、保温設備
	配管基本実習	鋼管、樹脂管、非鉄金属管
	CAD操作基本実習	木造建築の設計及び製図、鉄筋コンクリート造建築物の設計・製図
	設備施工実習	給排水設備施工実習、電気設備施工実習、空調機取り付け実習
	整備実習	空気調和設備、給水排水衛生設備、管加工、配管、漏れ検査
設備設計実習	給排水衛生設備図、換気設備図、照明コンセント図	
取得可能な資格※	ガス溶接技能講習、アーク溶接特別教育 ◆2級管工事施工管理技士補 ◆第二種電気工事士 ◆消防設備士1類、4類	
修了後に予想される活動分野	・管工事業 ・設備施工管理業 ・空調メンテナンス業 ・配管工 ・ガス内管工事業 等	
主な機械設備等	配管用工具、環境測定機器、給排水衛生機器、家庭用・業務用エアコン、実習用模擬家屋	
費用	入校選考料2,200円・入校料5,650円・授業料118,800円（年額） 教科書・作業服等の実費は、概ね40,000円 資格取得のための受験料等は、概ね15,000円	
その他	交通機関の学割が適用されます。 （過去3年間の就職率）令和2年度77% 令和3年度100% 令和4年度77.8%	

担当指導員から一言

蛇口を廻せば水が、ボタンひとつで冷暖房が、スイッチ一つで灯りが・・・
 これらが“あたりまえ”の中で私たちは生活しています。
 “あたりまえ”すなわち『快適な生活』を守る建築設備を学び、人々の生活を支える「やりがいのある仕事」に就いていただきたいと思います。

※太字（ゴシック）については、各技術専門校が行う試験に合格する必要があります。

詳細については各校にお問い合わせ下さい。

◆印については、各試験実施機関が行う試験に合格する必要があります。